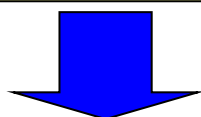


大規模地震発生時の避難マニュアル (中野キャンパス) 【教員用】

大規模地震発生時の初動マニュアル

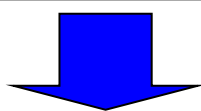
地震発生時の行動

- (1) **身の安全の確保！(落下物に注意)**
机の下などへ！書棚・ロッカー等の備品から離れる。



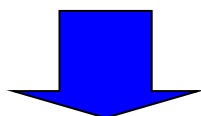
地震直後の行動

- (1) **余震に注意** 天吊りプロジェクターやガラスからは離れる。
- (2) **火の元確認。初期消火！**
出火した時は、落ち着いて消火活動と防災センターへ通報する。
- (3) **避難口の確保, 避難場所の確認**
出入口等を開け、逃げ道を確保する。
あわてて外部に出るとかえって危険な場合がある。
- (4) **館内放送に注意, その指示に従う。**
- (5) **教室の安全を確認**
声をかける, ケガ人がいないか確認する。



地震後の行動

- (1) **館内放送の指示に従う。**
傷病人がいないか再度確認し, いた場合は, 防災センターに通報する。
- (2) **教室の安全を再確認**
火の元のチェック。

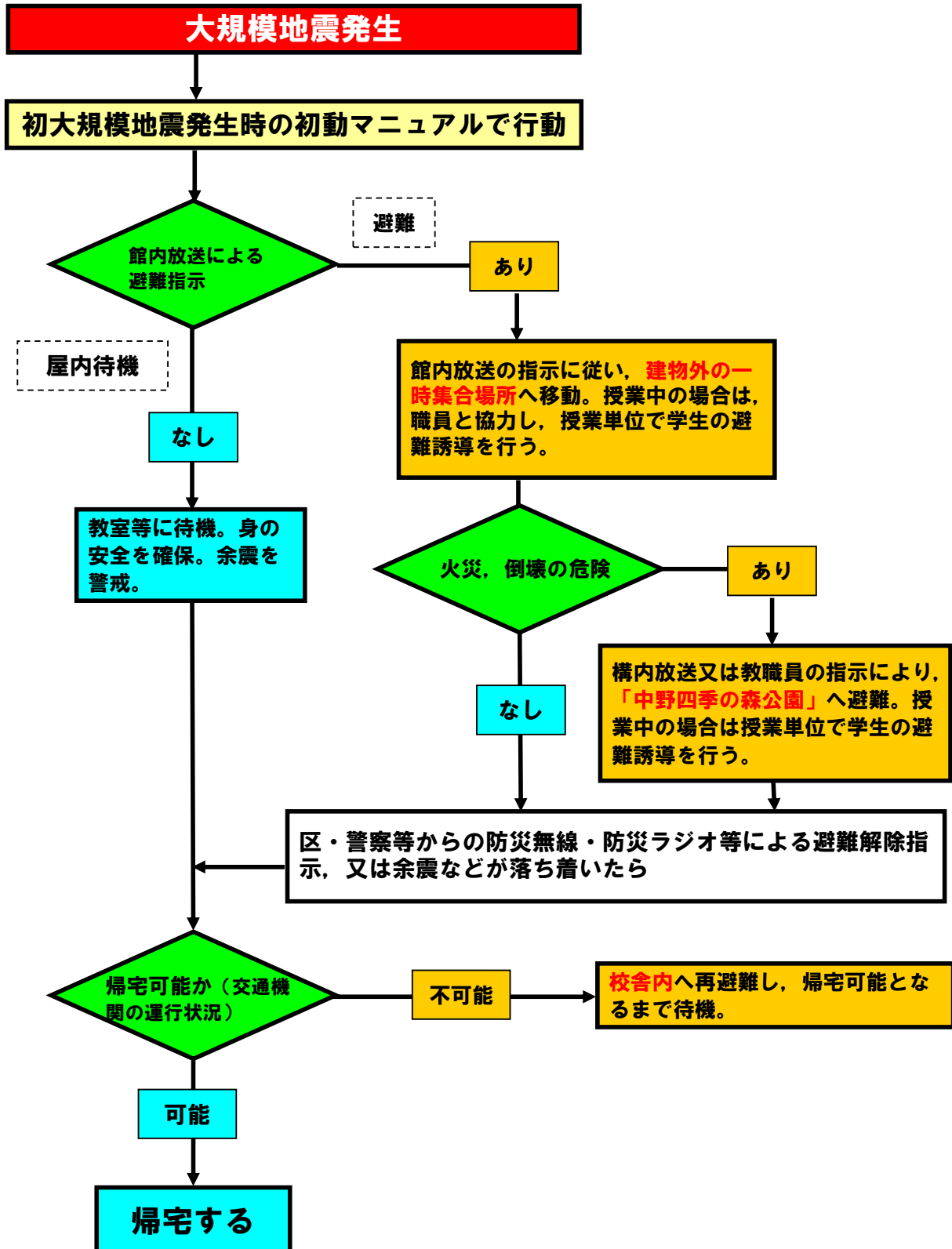


以下, 大規模地震発生時の避難フローへ

緊急連絡先: 防災センター (03-5343-8105)



大規模地震発生時の避難フロー



大規模地震発生時にはこうしよう

【日常的な備え】

教室内に、地震が発生した場合の対応及び避難経路図を掲出していますので確認してください。エレベーター付近の消火栓扉内には、防災センターに通じる非常電話を設置しています。教室内の電話と併せて確認してください。

【地震時の心構え】－落ち着いて行動－

地震時の生命の危険性は、発生した瞬間とその後に起こる火事にあると言われています。大きな揺れでも1～2分です。まずは、身の安全を確保して、落ち着いて行動をしてください。本学の建物は耐震建築又は耐震補強がなされており、建物が容易に倒壊するということはないと想定しています。

【地震発生時の行動】－身の安全確保－ <自助>

落下物や転倒物から身の安全を確保するため、机の下に隠れたり、天吊りプロジェクター窓ガラス、自動販売機、ロッカーなどから離れるようにしてください。また、学生にも同様の指示をしてください。

【地震直後の行動】－避難口の確保と火の始末－

小さな揺れのときや大きな揺れがおさまったときに、出入口を開けて避難口を確保し、速やかに火の始末を行ってください。

【地震後の行動】－状況確認と救出・消火－ <共助>

余震に注意しながら、周りの状況を確認し、傷病人等助けを必要とする人や、火災を発見したら、周りの人と協力して対応するとともに、防災センターにも連絡をしてください。（防災センターから119番通報します。）消火の際は、身の安全を第1に考え、消火器では消えないような火災のときは、無理に消そうとせず直ちに避難してください。

【エレベーター】

大きな地震の時は最寄り階に止まるように設定されていますが、乗っているときに地震に気づいた際は、全ての階のボタンを押して、停止した階で降りてください。また、万が一、降りられなくなったら、エレベーター内の非常ボタンを数秒間押して警備員に連絡した後、エレベーター保守業者による救助を待ってください（閉じ込めの発生しているエレベーターは業者の最優先対応となります。）。

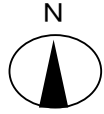
【屋外避難】

地震が発生しても、身近に危険がなければ避難する必要はありません。しかし、館内や近隣での火災や、壁に大きな亀裂が走るなど躯体への影響が懸念される場合には、屋外へ避難することになります。その際は、館内放送で指示しますので、各所に配置する職員と協力して、学生を建物外の「一時（いっとき）集合場所」へ誘導してください。その後、「中野四季の森公園」に移動します。なお、授業中に地震が発生した場合は、授業単位で避難するようにしてください。

【大学からの情報の伝達・安否確認】

地震発生後、体制が整い次第、大学HP及び中野キャンパス事務部から「Oh-o!Meiji システム」を通じてお知らせします。その際に大学への安否連絡方法もお知らせしますので、その指示に従って御連絡ください。Twitter（公式アカウント@Meiji_Univ_PR）でも情報発信を行います。

中野キャンパス



高田寺方面

火災、倒壊の危険がある場合

一時集合場所（敷地内広場）

低層棟
1～5F

アトリウム

避難の際は、
誘導係の指示
に従ってください

高層棟
B1～14F

中野四季の森公園

中野区役所一帯は東京都
の指定広域避難場所です。

中野駅方面

